

151207 赤池小学校教職員向竣工前内覧会資料

<6年生対象工事現場見学会での説明資料抜粋>

5階増築部分の重量及び学校の全体の重量

感謝の会での質問

Q:5階は何Kg?

5階は440トン=44万kg

A 44万kgといえば...

小6(40kg)×1万1000人分!

自動車×400台分

場所	重さ
いままでの学校	8,300トン
5階増築	440トン
合計	8,740トン

小6
×22万人分

自動車
×7,300台分



- トイレは児童参加ワークショップでも意見を採用
- ① 掃除道具入れを窓際に配置し、雑巾など乾きやすいよう配慮。掃除道具掛け設置
 - ② 男子手洗い形状の変更（鏡腐食・床汚れ対策）
 - ③ 広めのブース設置（骨折などつえ利用時の対応）
 - ④ 暖房便座採用（コスト増）、男子小便器手動洗浄（コスト減）
 - ⑤ 節水型便器の採用
 - ⑥ トイレ詰まり対応用掃除口付便器
 - ⑦ LED照明、人感センサーによる消し忘れ

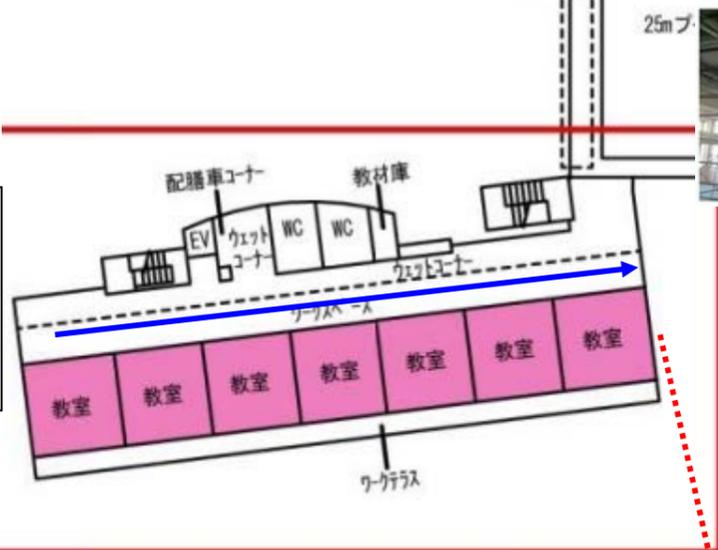


廊下のホワイトボードは、プロジェクタ投影、マグネット利用も可能
この仕上げも、児童ワークショップによりワークスペースの活用としてグループ活動の発表利用で挙げられた利用目的から採用：
（キーワード：発表、プロジェクタ、ホワイトボード）

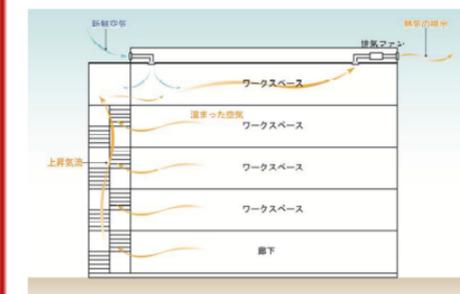


一般的な学校の床は、平らなコンクリートの上に床材を貼るのですが、今回は、もともと屋根（屋上）だったコンクリート床なので、雨水が流れるように少し斜めにつくられています。そのため、「浮き床」と呼ぶ工法で、かさ上げを行い、まっすぐな床をつくります。

この工法は、体育館床と同じつくり方のため、クッション性が高く、工事中も下の階に音が響きにくいというメリットがあります。



ワークスペースに蓄熱された熱を夜間の外気で冷却することができる熱排気ファンを設置。



夏場、最上階の熱対策として夜間も外気を取り入れ、熱がこもらない仕組みを採用。
天井内の大型換気扇により、一定温度になると換気扇が自動で動くよう設定



教室間仕切りはスチール製を採用。
木製に比べ丈夫であるとともに、マグネットの利用が可能
カーテン地を利用した目隠し布を用意し、更衣室利用時に一時的に貼り付けることが可能



教室背面、廊下部分にはマグネットも利用できる掲示クロスを採用
画鋲・マグネットの両方利用できます



教室・廊下・トイレ含め全ての照明にLEDを採用。蛍光灯に比べ消費電力約50%削減

教師用ロッカーの棚板の奥は隙間を開けてあります。
ほこりだまりにならずコンセントが通るよう配慮してあります



卒業する6年生の見学会とあわせて、「現代の墨書を作ろう」と題し、赤小の好きなところ、いま一番興味があるところを残してもらいました。